|  |  |
| --- | --- |
|  | **キュービクル式変電設備　適合チェック表** |
|  | 審査内容 | 適合 |
| 設　置　位　置 | 避難上支障とならない位置に設置されているか |  |
| 可燃性、腐食性の蒸気、ガス若しくは粉じん等が発生し、又は滞留するおそれはないか |  |
| コンクリート等不燃性の材料で作った堅固な床又は地盤面上に設置されているか |  |
| 火を使用する設備を設けた室内に設置されていないか。（周囲に有効な空間を保持する等、火災予防上安全な措置を講じた場合はこの限りでない。） |  |
|  |
|  | 項目 | 審査内容 | 申請機器 | 適合 |
| 構　　造 | 外　　箱 | 材料 | 鋼板又はこれと同等以上の防火性能を有するものであるか | 材料〔　　　　　　〕 | 　 |
| 板　厚 | 床面以外 | 1.6ｍｍ（屋外用2.3ｍｍ）以上であるか | 板厚〔　　〕ｍｍ | 　 |
| 床面　 | 1.6ｍｍ（屋外用2.3ｍｍ）以上であるか（コンクリート造又はこれと同等以上の防火性能を有する床に設けるものの床面部分については、この限りでない。） | 板厚〔　　〕ｍｍ又は床面の防火性能〔　　　　〕 | 　 |
| 開口部 | 防火戸（網入りガラス入りの場合はその部分を準不燃材料で固定）が設けられているか（換気口又は換気設備の部分は除く） | 防火戸〔適・否〕網入りガラス〔有・無〕準不燃材で固定〔有・無〕 | 　 |
| 固定 | 床に容易・堅固に固定できる構造であるか | 固定〔有 ・ 無〕 | 　 |
| 隙間 | 直径10ｍｍの丸棒の入る穴又は隙間はないか　　　　　　　　　　　　　（配線の引込み口及び引出し口、換気口等も含む） | 最大隙間〔　　〕ｍｍ | 　 |
| 外部露出設置可能機器 | 各種表示灯 | カバー材は難燃材料以上であるか | カバー材〔　　　　〕 | 　 |
| 配線用遮断器 | 金属製カバー付であるか | カバー材〔　　　　〕 | 　 |
| 電圧計 | ヒューズ等に保護されているか | 保護〔有 ・ 無〕 | 　 |
| 電流計 | 計器用変成器を介しているか | 変成器を介す〔適・否〕 | 　 |
| スイッチ（切替スイッチ含む） | 難燃材料以上であるか | 材質〔　　　　　　〕 | 　 |
| 上記の他、配線の引込み口、引出し口、換気口及び換気装置以外の露出機器はないか | その他露出機器〔有 ・ 無〕 | 　 |
| 上記について、屋外に設けるものにあっては、雨水等の浸入防止措置が講じられているものであるか | 雨水浸入防止措置〔有 ・ 無〕 | 　 |
| 収納状態 | 電力需給用変成器・受電用遮断器、開閉器等の機器は外箱の底面から10ｃｍ以上離して収納できるもの、又はこれと同等以上の防水措置が講じられているものであるか | 底面から〔　　　〕ｃｍ又は防水措置〔有・無〕 | 　 |
| 電力需給用変成器、受電用遮断器、変圧器等の機器は、外箱又は配電盤等に堅固に固定しているか | 対象機器〔有・無〕固定〔有・無〕 |
| 配線 | 電線引出し口は、金属管又は金属製可とう電線管を容易に接続できるものであるか | 接続〔可 ・ 不可〕 | 　 |
| 換　気　装　置 | 全般 | 外箱の内部が著しく高温にならないよう空気の流通が十分に行えるものであるか | 流通〔可 ・ 不可〕 | 　 |
| 開口部 | 自然換気口の開口部の面積の合計は、外箱の一の面につき当該面の面積の1/3以下であるか | 開口部面積〔　　〕％ | 　 |
| 機械式 | 自然換気口不足の場合は、機械式換気設備が設置されているか | 機械式設備〔有 ・ 無〕 | 　 |
| 換気口 | 換気口には金網、金属製がらり又は防火ダンパー等が設けられているか | 設置設備〔　　　　　　〕 | 　 |
|  | 記入者 | 会社名：　　　　　　　　　　　　　　　氏名： |
|  | １　「申請機器」欄は今回申請キュービクル式変電設備についての値等を記入してください。 |  |
|  | ２　「適合」欄は、適合している場合は○、不適合の場合は×、非該当の場合は／を記入してください。 |
|  | ３　上記適合状況が確認できる資料を添付してください。 |